

真実を伝える
組合機関紙

かいな

JMITU(日本金属製造
情報通信労働組合)
日本アイビーエム支部

東京都港区赤坂2丁目20の6
川瀬ビル5F 〒107-0052
TEL: 03-3583-9037
FAX: 03-5562-0853

定価 月 500円



5月30日 キンドリルジャパン本社前ストライキ行動

今春闘での組合要求がなければ両社の2024年の賃上げそのものがなかつたかもしらぬが、4月26日、5月1日付給与調整を表明している日本IBMからは4月の団体交渉で7月1日付の給与調整を表明している



5月30日 日本IBM箱崎事業所前ストライキ行動

今24春闘は、4月24日の4次ストライキの後、新しい局面に入りました。日本IBMからは4月26日、5月1日付給与調整の発表、および5月1

5月30日5次スト決行 日本IBM、キンドリルジャパンは 賃上げの上積み回答をせよ

5月21日、7月1日付の組合員の賃上げ回答がありま

そこで組合は平均賃上げ率を推定していますが、24年の組合による推定平均賃上げ率は日本IBMが1.1%、キンドリルジャパンが2.1%で、今春闘の10%の賃上げ要求にはるか及ばず実質賃下げです。これは、収まることのない物価高騰の中、従業員の生活の改善はありませんので、組合は両社の賃上げ回答を不服として、5月30日、5次ストライキを決定しました。

原水爆禁止2024年世界大会

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を
— 人類と地球の未来のために



国際会議

●会場：広島 JA ビル
8/3(土) 開会総会/セッション1・2・3
10:00~19:00

8/4(日) 閉会総会
10:00~11:00

世界大会 - 広島

●会場：広島県立総合体育館・グリーンアリーナ
8/4(日) 開会総会
14:00~16:30

8/5(月) 分科会 / 動く分科会
9:30~16:30
●会場：広島市内

8/6(火) 閉会総会 / ヒロシマデー集会
10:30~13:00

世界大会 - 長崎

8/8(木) フォーラム

8/9(金) ナガサキデー集会
10:30~13:00
●会場：長崎市民会館体育館



裁判・労働委員会スケジュール

以下に今後のスケジュールをお知らせします。

定年後再雇用不当労働行為事件	6/28(金) 10:30	中央労働委員会602会議室
定年後再雇用賃金差別裁判	7/04(木) 13:10	東京地裁510号法廷
AI 不当労働行為事件	7/09(金) 12:50	都庁第一庁舎南1階集合

厚労省によると物価の変動を反映した労働者の「実質賃金」が過去最長の25か月連続(今年4月時点)で減少した▼実質賃金とは、基本給や残業代、ボーナスなどを合わせた総額の「名目賃金」に物価の変動を考慮したもの。物価の上昇に賃上げが追い付いていない状態が続いている▼実質賃金の減少は労働者の生活水準が低下することを意味する。例えば、娯楽や贅沢品、旅行などの非必需品に対する支出が抑えられ、消費が減少する。教育費が削減され、子供の教育や就職に影響するとされている。さらに労働者のモチベーションや生産性の低下にも繋がる▼日本IBMに求められているのは、物価上昇を上回る賃上げを行うことで、労働者の生活水準を守るのだ。そのため組合はたたかう。



東京都労働委員会に要請

強いリーダーシップのもと、争議の速やかな解決を

5月30日に行われた全労連・東京地評争議支援総行動の一環として、同日午後から東京都労働委員会に争議解決の要請に参入しました。

要請には、都労委で係争中のJMITU日本IBM支部、JAL（日本航空）被解雇者労働組合、明治乳業賃金昇格差別撤廃争議団の3団体と、東京地評の要請責任者が参入しました。

日本IBM争議要請

日本IBM支部の要請には支部から3名が参加、

対応した都労委・審査調整課の方に争議解決の要請書を手渡ししました。要請書では、日本IBM（シニア契約社員制度）事件について、まず、シニア契約社員の給与に関する団体交渉における会社の対応は不当労働行為にあたる等として、都労委が今年3月18日に全部救済命令を発したことに謝意を表しました。さらに、日本IBMが中央労働委員会に再審査を申し立て、命令後も集団的労使交渉を否定する対応を続けていることを報告しました。他方、和解協議中のAI不当労働行為事件について、都労委の強いリーダーシップのもとでの速やかな解決を要請しました。

次に一緒に要請に参加したJAL被解雇者労働組合と明治乳業賃金昇格差別撤廃争議団の要請について紹介します。

また、解雇後に新たな従業員を採用しています。しかし、被解雇者の優先雇用を定めたILO166号勧告に従わず、職場に復帰できない状況が続いています。これは特定の労働者排除や労働組合の弱体化を意図したものと考えられます。

JAL被解雇者労働組合は、経営上、株主・利用者・社員にとっても全面的解決が有益であり、国際労働基準を遵守し、人権尊重の範となるべきだと、解雇争議の全面的解決を要請しました。

組合なんでも相談窓口				
会社名	事業所名	職 場 名	氏名	電話番号
IBM	箱崎	ISEL	大岡 義久	090-5243-3082
Kyndryl	六本木	サービスエクセレンス	笹目 芳太郎	080-5915-6329
IBM	大宮西	TLS. CE	佐久間康晴	080-5915-7817
IBM	大阪	TLS	河本 公彦	080-5915-5204
事務所連絡先	TEL 03-3583-9037(月水金 13-16時・除休日) FAX 03-5562-0853 メール kumiai@jmitu-ibm.org WEB https://www.jmitu-ibm.org/			
注) 上記窓口は事業所にこだわらず、連絡のとれる電話番号へどうぞ				
法律相談	労働問題・民事一般相談受付 (要予約)			
東京法律事務所	弁護士 水口洋介、今泉義竜、本田伊孝 http://tokyolaw.gr.jp/ 東京都新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル TEL 03-3355-0611(代)			
旬報法律事務所	弁護士 大熊政一、山内一浩、並木陽介、細永貴子 http://junpo.org/ 東京都千代田区有楽町1-6-8松井ビル 受付7F TEL 03-3380-5311(代)			
桜木町法律事務所	弁護士 岡田 尚 横浜市中区山下町207-2 関内JSビル6階 TEL 045-212-1503			
ほづみ法律事務所	弁護士 穂積匡史 http://hozumi-shinyuri.jp/ TEL 044-959-3550 川崎市麻生区上麻生1-6-1 かわしん新百合ヶ丘ビル305号			

JMITU夏ボーナス回答速報

組合員平均 昨年を120.668円上回る

バンド7以下一般職 昨年を上回る

日本IBM 平均1,005,000円
キンドリルジャパン 平均948,000円

JMITU24夏季闘争では、回答指定日である6月5日に、全国51支部分会で夏ボーナスの回答を引き出しました。

6日現在の集計では、春闘時にすでに妥結している38支部分会を含めた89支部分会の組合員平均は、昨年同時期との比較で+120.668円(+0.10ヶ月)となっています。

1年前のかいな2427号では、組合員平均は昨年同時期との比較で+43,467円(+0.06ヶ月)とお伝えしましたので、今年のプラス額は昨年を大幅に上回っています。

支部分会別では、とりわけ、東京北部・文化シャッター、東京南部・宇野沢組鉄工所703、163円(+119,232円)、神奈川・三和エレクトロニクス759,959円(同+161,025円)、長野・日酸TANAKA934,599円(同+255,767円)、兵庫・甲南電機655,000円(+175,000円)など、昨年を大幅に上回ったところがひろがりしました。

また、7日の統一行動日には、東京東部・日本ロール支部が早朝から1時間、東京西部・超音波工業支部が午後3時から2時間のストライキに立ち上がりました。その他の支部も、物価上昇から大幅な上積みも求め、闘いを継続しています。

両社ランキング圏内、昨年よりアップも不十分

6月6日現在、JMITU主要企業の夏ボーナス回答速報(ランキング)は下表の通りとなり、日本IBMとキンドリルジャパンは昨年を大幅に上回りました。

本部	会社	一般職平均	月数
東京北部	アドバンテスト	1,318,804	4.00
埼玉	芝浦電子	1,170,000	3.72
東京北部	東洋精機	1,150,000	3.14
長野	前田製作所	1,122,000	4.00
東京西部	リガク	1,115,000	3.16
東京南部	日本IBM	1,005,000	2.22
大阪	日立建機ティアラ	1,000,000	3.45
東京西部	ニッタン	970,000	3.07
東京西部	超音波工業	960,000	2.81
東京南部	キンドリルジャパン	948,000	2.08
東京南部	セガLS	946,374	2.70
東京東部	大東工業	940,000	2.15
長野	日酸TANAKA	934,599	3.00
通信産業	NTTデータ	931,500	—
東京北部	文化シャッター	922,631	3.10

両社の2024年夏ボーナスの組合員平均支給額(本体・バンド7以下一般職)は下表の通り、日本IBMが100万5千円(2.22ヶ月)、キンドリルジャパンが94万8千円(2.08ヶ月)です。これは24年のボーナス支払に使われた会社業績達成度が日本IBM「106」、キンドリルジャパン「96」と異例の高水準になったためですが、決して喜べる状況ではありません。

なぜなら、24年の本給の組合員平均賃上げ率は日本IBM1.1%、キンドリルジャパン2.1%と低水準で、24年のボーナス込みの年収の増

会社	2023年			2024年			増加額(対前年比)
	会社業績達成度(支払用)	支給額	月数	会社業績達成度(支払用)	支給額	月数	
日本IBM本体	69	926,000	2.06	106	1,005,000	2.22	79,000
キンドリルジャパン本体	80	900,000	2.05	96	948,000	2.08	48,000

加が物価高騰に追い付いておらず、また算定根拠が不明瞭なままの会社業績達成度が下がれば年収の減少になるからです。会社は、物価高騰を上回る年収の引き上げを、本給の引き上げと、わかりやすい「本給×月数」でのボーナス支給によって実施すべきです。